

令和4年度第2回 鶴岡市文化会館運営委員会 会議録

日時：令和5年3月14日（火）
午後6時30分～8時10分
会場：荘銀タクト鶴岡 小ホール

[出席者]

委員：草加叔也氏（会長）、太下義之氏（副会長）、三浦正信氏、伊藤博氏、小澤望氏
伊藤豊継氏、渡部真喜氏、兼子由香氏

事務局：【鶴岡市教育委員会】布川敦教育長、本間明教育部長、沼沢紀恵社会教育課長、
石川誠社会教育課芸術文化主査、梅津夕子芸術文化係専門員、
渡邊雅之芸術文化係専門員

【指定管理者（タクトつるおか共同企業体）】

有地裕之、押切良輔、榊原賢一、佐藤潤到、軍司愛

[公開・非公開の別] 非公開

1 開 会（社会教育課長）

2 挨拶（教育長・会長）

3 協議

(1) 令和4年度事業報告について

事務局より資料説明：資料1

会長：委員の皆様から質問・意見を伺う。

委員：新たな魅力のリージョナルシアター、1day シネマでの企業や商店街との連携など、タクトへの関心が高まると思った。
コロナ禍ではあるが、イベントなども復活しているので、引き続き親子で楽しめるコンサートなどを継続してほしい。
おつるっちゃん子どもたちもすごく喜んでいるので、「おつるっちゃんのテーマ」を一般の方から募集するとか、「楽しいことが待っているタクト」というイメージを作っていって欲しい。

委員：全体的にいろいろと地域密着して、そしてアウトリーチという形でやられているというのは大変素晴らしいと思う。リージョナルシアターでの演劇のアウトリーチは、ダンス界の方でも、身体表現的なところなどが注目されていて、エンターテインメント性のような芝居的な要素も求められているので、興味を持っているダンサーや振付師の方が増えている。私もいろいろ宣伝したいし、機会があれば参加したいと思った。
あと、平日の夕方や夜にイベントやワークショップを開催するというのが、なかなかこの辺では少ないと思うので、時間帯など検討していただいで平日にも何か楽しみがあればと思う。
あとは、各種事業の開催時期がすごく難しいとの話があったが、そこは全く同感。コロナ禍でも規制が緩和されてきているので、そこも考えていかななくてはならないなど改めて実感させられた。

委員：公演事業で、鑑賞事業8件のうち6件の公演をサポートしている。市民の方たちは金額にシビアで、ワンコインコンサートは人気があり、リピーターの方も多いような感じがする。先日行われた公演が低料金でやはり人気があり、初めて足を運んだという高齢の方が多かった。地域密着型の荘銀タクト鶴岡であって欲しい。
おつるっちゃんを荘銀タクト鶴岡の職員の方たちが手作りしたということを知り、とても愛着のあるキャラクターに今後なっていって欲しい。
3ページの設備等使用料は昨年度に比べて高くなっているし、設備使用料も増えているが、歳入と歳出の収支も課題になってくると思う。

委員：様々な分野にわたって事業が開催されているのはいいと思う。
どちらかというと鶴岡は音楽が中心と思っていたが、演劇やアートなど色々な分野を発信しているので、どこかに興味関心がある人・子どもたちが何かに参加できるようになっていくように輪を広げていくと、荘銀タクトに行きたいなというふうになるのかなと思う。
高校でも演劇部が頑張っているが、自分を表現するのはすごく大事なことだと思う。それが音楽だったり、歌うことだったり、演出することだったり、ダンスだったり、小さいうちからこういうことに親しめる機会を鶴岡市で作っているのは本当にうれしく思う。
高校生はロビーをすごく活用している。勉強の場所としては冷暖房も効いていて最適なうえ、19時ぐらいまでは安全にいられる。そこで高校生を引き込む方法は何か考えて事業に参加できるように高校生向けに何かあればいいと思う。入場料等の金額的なところもあるので、ワンコインだということを宣伝しながら、引き込めるようにし

たらどうか。

委員：先ほど事務局より、各種事業の課題を整理した説明を聞き、自己評価をしながら事業に取り組まれており、多様なプログラムを展開しているというのが印象としてある。説明からも情熱を持って活動しているのがこちらに伝わってきた。

私も、宝くじ公演を鑑賞したが、自分と似た世代がたくさん来ており、今回のような青春の歌を持っている世代に働きかけると多くの参加者が期待できるのではないかと思う。

8ページの市民サポーターの資料でも、観客として見るというよりも裏方・支援サイドに回るという、役割があるということを知らなかったのも、サポーターをうまく活用しながら、入場者への満足度が高めていけばいいと思うし、今後も上手くPRして、参加したいと思わせるような機会を作り、サポーター数も増やせればと思う。

委員：活動報告を見て、前回の5ヶ月間の報告の時にも発言したが、たくさん事業をしているのは評価できる、青少年育成事業でのアウトリーチなど色々な形で展開していて素晴らしいと思う。

ただ、前回も意見したが、広報の部分で実施した事業が一般市民の方々に伝わっていない。タクトしんぶんも設置場所を増やしているようだが、TwitterとFacebookを見ていて、開催の告知は目にするが、開催した様子の報告が一切ないのがさみしかった。やっぱりTwitter等で報告すれば、面白いことをしているなどと思う人がアカウントのフォローに繋がりタクトのお客様になると思う。最終的にはホームページへの誘導をするといった風に工夫できればと思う。

委員：他の委員も言っていたとおり、本当に多様な事業を展開されていることがよく分かった。

事業を担当する職員数も限られた制約がある中で、本当に色々考えられた事業を展開されていることはすばらしいと思う。

おそらく昨年度は、事業を企画されてもコロナで思うように出来なかったのが、ようやく今年度は実施できていることが伝わってきたのもうれしかった。

逆に心配だったのが、これだけ事業を実施してスタッフも大変だと思うので、それについては中期的にスタッフを増やすという方向も考えてもらいたい。また現在、冷暖房費等が高騰している。実は、鶴岡市に来る前に本日、東京の練馬区で同様に財団の委員会に出席してきたが、練馬区の場合は経費高騰分を市議会が理解を示して満額の補正予算が可決となった。鶴岡市でも経費高騰分はきちんと予算を付けてもらえるようにしてほしい。

また、光熱費だけでなく、人件費についても職員や民間も同じだと思う。組合が頑張るとベースアップで年収が上がることもあるが、アーティストの年収は全然上がらない。それが上がる唯一の方法は、事業の委託費やアーティスト費用を上げるという方法である。そう考えると、ぜひタクトが率先してアーティストに配慮しているアーティストフィを考えて、その経費をきちんと支払っていただきたいと思う。

会長：私も同じように、多機能な様々な事業に取り組まれていて、よくやられているなと感じた。

それから、予定された事業が全て出来たということは、すごいと思う。まだまだ昨年はコロナの感染状況に左右された状態だったが、予定されている事業が全て出来たというだけでも評価できると思う。

ただし、事業数が昨年に比べて増えているというのは、継続していくのが大変重要だと思う。その中で本当に安定的にそれを継続できるかどうかということも、もう一回

足元を見た方が良いと思うのと、色々なチャレンジをしているが、その中で重心を置いて育てるということが続けていくということも考えてもらえたらと思う。同じようなワークショップに参加すると、だんだんとそれより上のクラスというのを求めるようになってくると思うので、これも中長期的な視野で見れば良い。ぜひ育てていく・育った人をさらに育てていくという視点も、事業の中に取り込んでほしい。

(2) 令和5年度事業計画(案)について 資料2

委員：私も「第九」の説明会に参加したのですが、合唱王国ということもあってたくさんの方が参加していて、オーディションになるとは想像していなかったので、すごいなと思った。応募が多いことに対して、見に来る方もたくさん増えると思うのでまたタクトが盛り上がるなど期待している。

委員：私も今後の活動に期待する。

委員：2023年度今後の事業予定だが、ものすごく充実した内容の事業だと思う。できるだけ公演サポーターとして協力したい。後ほど議題の方でクレームなど色々あるみたいだが、サポーターとしても、公演のたび、お客様のお見送りの際に公演内容について厳しい意見をもらう。その都度なるほどと思いながら、その場では心を沈めて対応している。2023年度はお客様が笑顔で帰れるような事業が多いことを願っている。

委員：高校生を何とか、何とか事業に送り込みたいと思う。やはり高校生が一番はInstagram。今、FacebookやTwitterよりもInstagramなのでそこを活用して、さらに拡散してもらえたらと思う。

委員：先ほどご説明のあった、指定管理委託料だが総計が約1億7,900万とのことで、昨年とそれほど変わらないが、その中でいろいろな事業を行っていくということでよいか。また、外部資金導入や経費の削減とのことだったが、事業費も委託料で賄っているのか。

事務局：指定管理委託料で年間の事業を行っている。また、事業費についても賄っている。

委員：先ほどの協議1の時に意見したとおり。しっかりと広告の方よろしくお願ひしたい。

委員：来年度の事業も盛りだくさんだがこのまま進めてもらいたい。強いて言うと、今年度が終わると会館から丸5年経つということで、一定の区切りになる。途中でコロナの影響もあり、当初予想した5年間とは違ってきている部分が相当あると思うが、5年が経過したということで一定の中間まとめが必要になってくる。あと、タクトを取り巻く環境も変わっている。資料4の話題になるのかもしれないが、学校教育の部活が外部のスポーツ・文化・芸術団体と連携していくということになる。その状況を考えると、タクトが市の芸術文化協会によって運営されているという点はすごいアドバンテージで、そういう活動にいかに関わっていくかということも、大きなチャレンジであり、今後の経営課題になってくると思う。

会長：重要なポイントだと思う。ぜひ部活動、課外活動のパートナーになれるタクトであってほしいと私も同じように期待をしている。

今事務局より説明のあった来年度の事業を見てみると、鑑賞事業に関してはどちらかというと、言い方は悪いがお金で解決できる部分が多い、それよりも育成や参加交流、この辺は体力で補っていかなければならない。手間がかかるのはこちらだと思うので、先ほど人事異動の話もあったが、その辺は補充ができるのか。

事務局：人数自体は13人ということで、貸館担当と事業担当というふうに分かれるが、貸館担当は慣れてきたので1名減。事業担当に1名増ということ。

会長：了解した。もしかしたら、また足りなくなるとこの事業量・作業量からいうとかなり忙しいと予想するので、無理のない範囲で、36協定も守りつつ仕事を続けてほしい。

(3) 荘銀タクト鶴岡に対する意見について 資料3

委員：この資料3について、事前に確認したが、日頃この会館を利用して気づいたこと、特に高校生や中学生がフリースペースを使っていて、冷暖房の温度などのことが細かに記載されており、それだけ荘銀タクトに通われている方だと思った。

中にはすごくきつい表現で書かれている方もおり、そのような市民の方が公演に来館したときに、そのような感覚で見ている方もいると思うと、さらに緊張感をもってサポートしたい。クレームを伝えるというのは、それだけ荘銀タクトを利用した方が、それだけ良くして欲しい、向上して欲しいと、関心を持ってもらえている。

全ての要望に応えるのは不可能と思うので、改善できるところは改善して、そうでないところは職員が丁寧に対応している感じが文章で伝わるので、まずは出来ることから対応をお願いしたい。

会長：関心があるから意見を頂く、無関心であれば意見は言わないので、関心があるからこそ、こうなると良いなという意見があるだろうと思う。

(4) 成果と課題（総括） 資料4

会長：文化政策に関わる部分についてお話を伺いたい。

委員：当然だがタクトは鶴岡市の文化施設であり、なおかつ鶴岡市が所有する中で最大の文化施設で予算も相当規模、約2億円を年間使っている。

それで市の施設ということは、資料の3ページにも言葉が出てくるが、市の計画があってそれに基づいて事業を実施しているわけで、それが鶴岡市文化芸術推進基本計画となる。

国の文化芸術の方でも、自治体が文化芸術推進計画を作ることが努力義務になり、それに対応して鶴岡市の基本計画が出来ている。鶴岡市内での文化活動も、リアルな情報がこのタクトに一番集積するはずで市役所にはなかなか集積しない。今後、鶴岡市がどういう文化政策をやればいいのか、その判断の材料が実はここにたくさん集まることになる。

そう考えると、開館から5年経過するので、タクトとしては自ら中間まとめをする必

要があると思う。その中間まとめをした情報は、単にタクト自身の運営改善に資する内容だけでなく、鶴岡市の文化政策にも当然役立つ様々な情報がそこに入ってくるということになる。

市の文化芸術推進基本計画は5年程度経過したら見直しの時期に入ってくるわけだが、その時に、活動の成果・課題の取りまとめを政策に反映させることも必要になる。そうすると、タクトは単なる劇場・ホールとしてだけではなく、政策提言機能も持つ機関になる。人数が限られている中でさらに役割を課しているような気がするが、ぜひ、そういう理想も念頭に置きながら活動してほしい。

会長：私も同様に、鶴岡市文化会館管理運営計画が、(2)で「文化のまちづくりについて」に書かれているが、計画をこの5年間にどう実行、達成してきたかという、指定管理者としての自己評価は一度ベンチマークとしてした方がいい。そうすることによってこれだけ出来ているという、もちろん十分出来ていないという評価もあるかもしれないが、まず重要なのは自己評価をするということが第一で、できれば鶴岡の評価を受ける。こういう委員会かもしれないし、それからもっと違う評価委員会というのかもしれないが、評価を受けることで、次の鶴岡市文化芸術推進基本計画というふうに繋がっていく。ストーリーとしてはすごくエビデンスになるので、それを一度取りまとめるのは重要なポイントになる。

他に質問・意見はないようなので、司会を事務局に返したい。

4 その他：特になし

5 閉 会：（社会教育課長）